

中国 4年ぶりの移動制限がない春節休暇

「新年好！」中国では、春節（旧正月）を経て新年を迎えました。今年の春節休暇は、コロナ禍後初となる移動制限がない連休とあって、人々の賑わいが感じられました。

◆中国にとっての春節

中国で「年越し」といえば、旧正月である春節のことを指します。春節は旧暦に基づくため毎年その日付が変わります。例年1月下旬～2月中旬の間の1週間程度が春節休暇となり、今年は1月22日の春節を挟んで、21日から27日までが連休となりました。

春節休暇中は家族や親戚が集まって食事をしたり、年末には家の大掃除をして春節飾りを飾ります。さらに日本に紅白歌合戦があるように、中国にも「春節聯歡晚会」というテレビ番組を見て年越しをするといったように日本と同様の風習があります。一方、爆竹や花火で華やかに新年を祝うのは中国ならではの文化です。ただし北京や上海などの都市部では、爆竹や花火は安全上の観点から禁止されています。そのため、上海市内の公園では、おもちゃの爆竹やかんしゃく玉を鳴らして、春節の雰囲気を楽しむ人々の様子が見られました。

また、親戚や友人の子供に紅包（お年玉）を渡す習慣もあります。電子決済が普及し普段は現金を持ち歩かない中国人も、春節休暇中には現金を多めに準備しています。



春節飾りを購入する人々(1/21)

◆移動制限のない春節

中国政府が去年12月にゼロコロナ政策を転換したことで、4年ぶりに移動制限がない春節休暇となった中国。春節休暇中の国内の旅行者数は約3億人と、コロナ禍前の9割程度まで回復しています。帰省客のほかにも、中国各地の世界遺産やテーマパークへの観光客が増加しています。実際に上海市内では、大きなスーツケースを持って移動する大勢の旅行者を目にしたり、有名な観光地では、ゼロコロナ政策下には想像もできない程の混雑に遭遇しました。



上海市内の観光地「豫園」の様子(1/21)

◆日本への旅行はこれから

コロナ禍で制限されていた海外旅行にも関心が高まっています。春節休暇中の人気の旅行先は香港やマカオのほか、中国からの渡航ハードルが低い東南アジアです。特にタイはコロナ禍前より日本と並ぶ人気の海外旅行先であり、首都バンコクでは春節の飾りつけとともに歓迎ムードで中国人観光客を迎えています。しかし、日本では中国からの渡航に対し水際対策を強化していることや、国際線の便数に限りがあり航空券代も高止まりしていることなどから、中国人の日本への旅行需要の本格回復はもう少し先になりそうです。

（上海駐在員事務所 船田 美遥）



タイ・バンコク市内の春節飾りと観光客の様子(1/22)

【お問合せ先】

七十七銀行 市場国際部 アジアビジネス支援室
TEL.022-211-9880

【Global Letter NEXT ホームページ】

その他の記事はこちらからご覧ください。

https://www.77bank.co.jp/kokusai/globalletter_next/

本紙記載の内容につきましては、当行が信頼できると考える情報に基づき作成しておりますが、その正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談いただくようお願い申し上げます。